

時間表現に関する対照言語学的研究：日本語と英語、ハンガリー語、トクピシン

本研究では、時間に関する表現に使用される形式が対照する言語間（日本語、ハンガリー語、トクピシン）で共通点があるかどうかを検討し、時間表現が場所表現から意味拡張される特徴について明らかにする。対照研究の言語として、日本語、英語、ハンガリー語とクレオールであるトクピシンを選んだ。日本語とハンガリー語は格（または後置詞）に多くを依存する膠着的な言語であり、英語とトクピシンは前置詞に多くを依存する孤立的な言語である。タイプの異なる言語を対照することで、時間表現に使用される文法形式の特徴を調査する。

まず、ハンガリー語の例を示す。ハンガリー語は 18 格もの格を持つ格体系が豊富な言語であり、その中には、時間を専門的に受け持つ時格(temporal case) ”-kor” が存在する。以下、(1)に例を示す。

(1) ハンガリー語の時格：

3 óra-kor 「3時に」、Karácsony-kor 「クリスマスの時に」

ただし、この時格は通常、ハンガリー語の 18 格に入らないもので、格と派生接辞の中間に位置するとされる。ハンガリー語の時格のような格、文法形式は世界の言語でも観察されないが、実際、他言語での時間表現が、どのような文法形式でなされるのかを調査するのが本研究の目的である(Comrie 1985)。

日本語をはじめとして、英語、ハンガリー語、トクピシンの時間表現を対照する。以下の表にいくつかの例を示す。加えて、格、前置詞、後置詞等の、どの文法形式が現れるかを観察する(Kurzon 2008)。

日本語	英語	ハンガリー語	トクピシン
3時に 格助詞	at 3 o'clock 前置詞	3 óra-kor 時格	long tree kilok 前置詞
明日 (に) 格助詞	tomorrow なし	holnap なし	long tumora 前置詞
月曜日-に 格助詞	on Monday 前置詞	Hétfő-n 場所格	long Mande 前置詞
10 分間 場所副詞	for 10 minutes 前置詞	10 perc-ra, 場所格, 10 perc-e 所有接辞	inap 10minut 副詞

日本語では場所を表す格助詞「に」が使用される場面で、英語は同様に場所を表す前置詞が使用されるが、異なる前置詞が現れる。格が多いハンガリー語では、時格以外では、場所格が使用されるが、その分布は日本語と異なる。トクピシンでは多くの時間表現でも多機能前置詞である ”long” が使用される。しかしながら、「10 分間、10 分ほど」という表現には副詞 inap（英語の enough からの借用）が使用されている。ハンガリー語においても、この表現では場所格「-の上へ」が使用される場合と、所有接辞を使用し「誰かの 10 分だけ」と表現されることがある。

このように、全体的に場所を表す格や前置詞が時間表現に使用されるというのは、日本語、英語、ハンガリー語で共通であるが、その分布については、本研究で対照した言語間でまったく異なることが判明した。また、トクピシンに関しては、多機能前置詞が場所をもっぱら表す文法形式とも言えず、表現自体も借用語を使用したものが多く、時間表現をクレオールで進化させていないことが判明した。

参考文献

Comrie, Bernard. 1985. *Tense*. Cambridge: Cambridge University Press.

Kurzon, Dennis. 2008. “Ago” and its grammatical status in English and other languages. In: Kurzon, Dennis & Silvia Adler (eds.). *Adpositions*. Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins: 209-227.